

京都薬科大

京都薬科

記念公開講座を開催 薬用植物園開設100周年

京都薬大キャンパス近隣にある御陵園の見学会を5年ぶりに実施する。教員と学

生が園内を案内して薬用植物の解説を行い、参加者の質問に答える。

大学は10月26日、薬用植物園開設100周年を記念して、御陵園

の見学会と公開講座を開催する。

午前の部

では、京都

市山科区の

府立医科大学大学院医学研究科呼吸器内科学の高山浩一教授による「肺癌薬物療法の進歩」、熊本県山鹿地

が「今こそ知りたい薬用植物のチカラ」と題して講演し、漢方の視点から朝起きられないなどの不調改善のヒントを紹介する。

このほか、「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」との共催で、京都

府立医科大学大学院医学研究科呼吸器内科学の高山浩一教授による「肺癌薬物療法の進歩」、熊本県山鹿地

を新たに整備した。

区薬剤師会理事の大森真樹氏(きらきら薬局)によるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)とグリーフケアの講演も行われる。参加費は無料だが、京都薬大学生涯教育センターウェブサイトから事前申し込みが必要となる。

薬用植物園は1925年、京都薬大の前身である京都薬学専門学校の薬草園として山科区に開園。その後、複数回の移設を経て1968年に京都市伏見区日野林の現在地に全面移転し、2011年には御陵園